

# The Gallery

2003(平成15)年7月13日(日) 発行・相模原市議会をよくする会

6月定例会版

## ☆緊急 座談会 | 新7議員が卒直発言 市政と議会を語る!

### 新議員さっそう登場! 私はこう考え、行動する



阿部善博  
市政クラブ



岩上容子  
日本共産党



岩本香苗  
神奈川ネット



小池義和  
民自21クラブ



東條恵美子  
無所属



中村昌治  
市政クラブ



細谷政幸  
市政クラブ

■座談会の概要■・共同主催(相模原市議会をよくする会/アゴラ誌)・会場(相模原市立さがみはら市民活動サポートセンター会議室)・司会=赤倉昭男(相模原市議会をよくする会代表)・開催日時=2003年5月20日(火)2時~5時

★座談会の発言全文は現在発売中の「アゴラ」第26号に掲載されています。

★大沢洋子、須田毅両議員は私的理由で参加しませんでした。

## 立候補の動機と理由

司会 — ご当選おめでとう。先ずは今回立候補された動機や理由をお話ください。発言はどなたからでも結構です。

阿部 — もともと市政や県、国の政治に関心を持っていた。新聞や市議会だよりを見ていて、何か市議会に足りないものがあるのではと感じていた。議会では若手と言われても、民間企業では責任ある仕事を任されている年代。私の持

てる力を生かせると思った。

細谷 — 父が長く議員だったこともあるけど、自分も商工会議所、法人会、PTA等の役員や消防団での活動の経験から、団体でやるには限界があることが分かってきた。父がやって来た地域の事の継続も含め、チャレンジしたかった。

小池 — 民主党総支部で秘書をやっていた

4頁に続く→

# 傍聴報告・臨時会／6月議会

■臨時会・本会議（感想と意見）（5月16日、6月2, 6, 25, 26, 27日）

1. 臨時会では立候補者不明のままの正副議長選挙。新人議員もびっくり。傍聴者にも判る選出方法に即改善を！
2. 由比新議長、「囃らずも」と言いながら、用意してきた原稿棒読みの挨拶に議場・傍聴席に嘲笑が起きた。副議長の小俣氏は原稿無しの挨拶で無難に。
3. 議会運営委員会委員の選任に、藤井議員の反対は正論だった。ついに少数会派切り捨て議会が始まった。
4. 新議席で、各派とも新人は前、古株は後席に。国会、県会に倣う愚行。
5. 総括質疑は新人・東條議員と西村議員のたった2人。市長提出議案が7件、請願・陳情15件では、質問の仕方が無いぐらいか。まさに「陳情議会」。
6. 一般質問は18議員が行ったが、うち新人が3人、元職が1人だった。会派別は下記の通り。
  - \* □市政クラブ 3（会派人数 22）
  - \* □公明党 3（会派人数 8）
  - 共産党 5（会派人数 5）
  - 民主・自由 1（会派人数 4）
  - ネット 2（会派人数 2）
  - 社民党 1（会派人数 2）
  - 無所属 3（無所属数 3）
 これでは2大会派(\*)が議会だよりに質問者名の記載を反対する訳だ。
7. 小俣副議長登板するも、事務局長が補助しても痛々しい姿。全うできねば辞めればよい。中核市の議会を汚すな。
8. 西村議員、東條議員、岩本議員、岩上議員、そして小林議員が相次いでグリーンアサヒ問題で市側を牽制、慎重な調査のうえ市民擁護の結論を出すべく質問した。（議会中に、新磯野の環境を守る超党派の議員の会が発足したが市側はあくまでも「法に従って」と答弁を重ねた。）

9. 久しぶりに議会へ戻った長友（義）議員が、常勤特別職（市長）の4年ごとの退職金支給の見直しを主張。市長は経緯や他自治体の動向をみて検討したいと答弁。原稿メモなしの迫力ある質問は他議員のよい手本。要は自分の信念を自然な言葉で発表することが議会の活性化を招く。
11. 西村議員が基地跡地返還の3分割負担に疑義表明。もともと市の土地に金を払う案はおかしいは常識的だ。

## ■委員会（感想と意見）

### ■総務委員会（6月10日）

- 定刻9時半に傍聴者を入室させず、市幹部の新委員への紹介行事。傍聴市民に幹部の顔ぶれを見せられないか。開会前にやるべきだ。他委員会も同じことをしていた。
- 溝淵委員「出てきた議案の審議だけでなくどんな問題も、ことあれば警鐘をならさねば」は、その通り。しかし、前議会で承認したばかりの外部監査法人の選任についての細かい質疑。もう忘れてしまったのか。
- 市のILO勧告軽視に、藤井・金子両委員が発言。中核市としての自覚が必要では。
- 有事3法案の反対陳情を「不採択」。基地の街相模原の議会として考えさせられる。
- 陳情審査で、最下位当選の藤井委員の活発な質疑に反しトップ当選の長友克委員は全く質疑なし。市民の意に背く。
- 新人議員総出で傍聴、熱心に勉強の姿勢。

### ■民生委員会（6月11日）

- 新人・中村委員は発言がなかったが、まだ勉強不足だったのか。次回は猛勉強して及第点の質疑を期待する。
- 新人・岩本委員は活発に数度の発言で、意

（議会川柳）  
新役員 持ち回り果ての 顔もある

欲を見せていた。委員会は年に4回しか (!) 開かれないので、1回の機会は貴重なものとの委員の認識を望む。

- 保育所運営費国庫負担制度の堅持についての陳情が採択された。市民からみてよかった。(後日の本会議裁決には保育所経営者多数が傍聴に来ていた!)
- 住基ネットのICカード発行予算執行凍結の陳情では西村委員が「市側の説明は国の言い分の域を出ていない。本市独自の検証が不可欠」と指摘したのは議会として当然の議論。その間、大会派所属の委員たちの態度は不謹慎。他者の意見を聞くのも委員の仕事ではないのか。
- 小泉市民部長が住基ネットについて「法で決められている。運用・技術面で安全と認識している」と発言。それでは担当部局の職員は要らない。

#### ■環境経済委員会 (6月12日)

- 市職の公用車での加害事故・損害賠償で武原委員が苦言。職員の気のタルミ、市の指導・規律の不足が原因だろうが、委員からの責任追求も職員への処分説明要求もなし。毎議会の類似事件が目立つ。
- パート・臨時労働者の労働条件改善の陳情が不採択に。賛成しなかった山田、小俣、川上、石井、阿部委員らの説明を受けたい。
- 小俣委員、完全沈黙したうえで、反対の意思表示しただけ。何のための委員?
- 4新人と武原委員が好スタート。
- 山田、石井委員は発言はしたが、相変わらず物足りない内容。要勉強・頑張り。

#### ■建設委員会 (6月13日)

- 菅野委員、工事請負契約について深く追求する質問。土木計画課長の答弁は認識度が低く、分かりにくいものであった。
- 細谷・小池両新委員・折笠委員は発言せず。たった1件の議案では仕方ないか。
- 米山委員の質問から、今年1月から郵便入札に、平成17年からは電子入札にな

ることが分かった。

- 沼倉新委員長、マイクの使用注意から職員への説明補足要請まで、昨年と異なりテキパキとしたもので、今後の持続を期待したい。

#### ■文教委員会 (6月16日)

- 陳情・請願(この用語を変える手だてを考えたい)の主旨説明は提出者がしてこそ意味がある。理事者の説明は社会的背景であり、議員に改めて説明する内容ではない。
- 教育基本法「改定」見送りの陳情は、理事者の説明だけで、何の審議もせず、委員長が継続審査を宣言。これでは委員会に付託された意味が無い。
- 請願第2号の採択時に河本委員が離席していたときに、委員長が「総員賛成」と裁決していたが、どういうことか。
- 友成委員の青少年相談センターについての質疑で、所長答弁はいつもの外れ。
- 寺山委員、相変わらず「素人の発言で申し訳ない」と謙遜(?)。勉強・準備なしでは委員会が時間の無駄になる。

#### ■議会運営委員会 (6月17, 24日)

- 本会提出の3陳情は、すべて不採択。経緯は本紙の16ページに説明した。個々の委員の「発言」では下記のもの注目された。
  - ◎今回は不採択だが、後日いい返事が出来ると思う。(佐藤委員=市政クラブ)
  - ◎不採択。細かい事がある。後日いい返事を出来ると思う。(大上委員=公明党)
  - ◎賛成。別途設置する協議会では最優先で取り上げたい。(松永委員=共産党)
  - ◎氏名掲載・会派別賛否掲載に賛成したいが、氏名掲載の難しさは理解する。会派の考え方の公表は不採択にしたい。(長友克委員=民主・自由・21クラブ)
- 別途設置の議会制度検討協議会は非公開となったが、折笠委員長が「傍聴者がいると委員が自由に発言できない」と発言。そんな委員たちでは、原則公開の議会そのものの存在が問われる。猛省を促したい。 ■

→1頁から続く

が、そこで市民からの生活に直結した悩みを聞いていた。25歳で地盤、看板、カバンが無いので怖かったけど、前市議の寺崎雄介から、君に出来ることは立候補だといわれ決断した。

中村 — 地元が田名で、5期20年の宮崎昇議員の引退で、後継者として白羽の矢が立った。政治には興味もなく勉強もしていなかったが、民間会社経営10年の経験や各種団体での勉強はした。民間の視点を議会に反映出来ればと思った。

岩本 — 市内で生協関係の活動をしてきて、そこで自主運営・自主管理の手法を学んだ。街づくりについても市民自治を広げるという点に共感して神奈川ネットワーク運動に入った。自分が保育関

係の市民事業を起こした経験からも、皆の声を議会に届け、議決権46分の1を行使したいと思った。

東條 — 8年間ゴミの活動をし、南清掃工場立替え問題が非常に市民の遠い所で考えられ具体化していくのに憤りを感じた。これを少しでも変えなくてはと議会に出ていくことを考えた。大きな公共事業だからキチッとやりたい。

岩上 — 19歳で日本共産党に入党。その前は高校時代に民主青年同盟に入り、社会の仕組みや政治を学んだ。日本共産党が政党助成金や企業献金を受け取らないことが気に入った。前議員の木村峰子さんから白羽の矢を立てられ悩んだが、一般企業で働き自分の事だけ考えてはダメだと決意した。

## 選挙制度に物申す

司会 — 皆さん選挙ではご苦労されたはず。選挙のあり方には問題があると思う。例えば選挙公報が告示の3日後でないと有権者に届かない。不在者投票は告示の翌日に始まっているのに。告示日の午後5時まで立候補者の届けを待ち、その後印刷に掛かるからです。皆さんから見た選挙制度はどうでしたか。

阿部 — 法律が古く違和感を持つのは間違いない。例えば提灯は許されてるけど、事務所に提灯1個と看板3枚は付けていいとか。50年前はいざ知らず、いまは選挙以外には使わず、わざわざ買って来た。そんなものが随所にある。自分の訴えたいことと方法のギャップにもどかしさを感じた。

細谷 — たしかに古い法律だ。これだけ世の中が変わっているのに、もっとやり方があるはずだ。また親父（前議員）と同じことをやらなきゃいけないのかと。1週間の短い期間だから自分の拠点を中心になる。宣伝カーは初日と最終日だけで、あとは丈夫な足で歩いた。皆さんそうじゃないのか。

小池 — 自転車で市内全域を回った。絶対自治会とか地域から出たくなかった。議員は61万市民の代表で有るべきで拠点は作りたくなかった。

東條 — 一番の問題はチラシとかが配れないこと。期間中に名前や写真の入ったものは配れないのはなぜ。皆がおなじに出来るのだから規制の必要は無いはず。戸別訪問もべつにお金を配って歩く訳ではないし、自分一人では限りがあるので規制はおかしい。

小池 — 東条さんが言ったような感じだけど、いいものはいい、悪いものは悪いと明確にしてほしい。何か法の抜け穴を探すような感じだ。ここまでならいいだろう、これ以上はまずいだろう、と言うことは他の候補者も同じではないか。不公平も生まれてくる。

司会 — それをいちいち選挙管理委員会に皆さん聞いたわけですか。即答が有りましたか。

小池・細谷 — 聞きました。即答しないではぐらかされて終わりだった。

中村 — 法律の壁がある。名刺一枚にして

も確認しましたが、「預からせて下さい」との回答。何日か後で「常識的な範囲で配ることについては大丈夫」との説明。「常識的な範囲」とは本人が手渡すこと、ということでした。

司会 — 選管は県の選管に、県の選管は総務省に聞いてます。よくする会で議員の通信簿を作ったときに総務省に問い合わせたら、「100%の有罪とは言えません」という妙な回答でした。信念を以て自分が正しいと思うことをやるしかないです。

岩本 — 選挙公報のことで、私のはイラストが多かったのですが、全面イラストはダメで、2分の1にという指示があった。文字の入った吹き出しもイラストだといってダメでした。理由を聞かずに従ったが、理由の点検は必要ではないか。

阿部 — 勉強すると、結局お金を掛けないということになる。選挙はそもそも何のためにあるのか。自分たちの代表は何を考え、どんな人で、どんな政策を持っているかを知ることだ。規制規制と候補者も有権者ももどかしさを感じている内に1週間が過ぎて、結局42%の投票率が残った。名前を売った人だけが当選するのじゃない民主主義の根幹を、国も知事も市民も一緒に考えたい。もどかしさの中にいる市民の声を当選した議員は聞いていくべきだ。

司会 — 今回の選挙でもわれわれは公開討論会の計画を練ったが、結局できなかった。候補者が一同に集まって同じテーマで討論したら、恐ろしい位違いが分かってしまう。選管にも提言したが理想は叶えられなかった。

## 私の議会活動はこれだ

司会 — 市議会で何としてもやりたいことを聞きたい。議会活動を議員活動と区別して考え、本会議や委員会の場で何を達成しようとしてますか。例えば定例会ごとに議員提案をしたいとか、自分を先生と呼ばせないとか...

細谷 — 身近な提案として電柱の風俗チラシや悪徳電話から子供を守る条例の提案などしてみたい。

岩上 — 驚いたのはバッジを付けた途端に、市の職員が私を奉るんです。「議員さん」とか「先生」とか。そんなところも変えていきたい。また議会を市民に身近に感じてもらうためにも、夜とか週末に開催するようにしたい。

東條 — 私は一般質問を全部の議会でやりたいと自分に課しています。テーマは公約以外にも沢山ある。議員の立場と言うより、市民の立場で質問したい。

中村 — 先日臨時会があり、正副議長や委員長の選任があったけど、出席簿に印鑑を事務局のカウンターで押させた。昔

の小学校の出席簿と同じ。企業ではIDカードで管理してる。印鑑のレベルは21世紀の世代に馴染まない。民間レベルにシフトさせたい。体質が古い。

小池 — まだ入ったばかりで、「闇夜は動かず」と言うことで見に回っている状態です。一般質問でも、議会では市民に分りやすい言葉を使いたい。「議会だより」でも傍聴でも、限られた知っている人にしか分からない。

司会 — 「議会だより」を調べると、毎回22万部も世帯配布してるけど、よく読んでいる人は何と7%だけ。年間4回出す費用は実に1400万円。壮大な無駄です。

小池 — TVドラマと同じで、始めが分からなければ、続きは見ない。内容を改善しなければならぬと思う。

岩上 — 議会での言葉、難しいです。興味持てと言われてもね。一般市民の人が傍聴してもどれだけ分かるかなーと思ってしまう。

東條 — そう。言葉でしか聞こえないから、文字のイメージが湧かない。しかも以前はマイクも無くて市民は聞こえず、置いてきぼりだったけど、少しずつ改善されて来てはいる。

司会 — 議会ことばの改善は難しい。これから決算、予算の説明はもっと分かりにくい。何十年も議会に座っている議員はなぜ今まで放置してきたのか。

岩本 — 今度議員になって初めて知ったけど委員会のメンバーになったりすると、議員報酬以外に手当が付くと...

東條 — 農業委員や監査委員。

岩本 — そこだけですか？ かなり高額と聞いたけど。財政難とか福祉のところや臨時職員の時給が10円カットされるなか

で、議員も率先して改善しなくてはならないと思う。

東條 — 委員も最初はそんな所から決まってく流れになっていて不自然だなと思っていた。

阿部 — 私は民間でコンピューターシステムの開発をやったので行政のIT化を進めたい。高齢者も障害者も使えるものにしたい。セキュリティーの曖昧な所も直さなくてはならない。

司会 — 地方議会にも議員提案と言う手段が有るのに、3千を越える全国自治体でも年間わずか200足らずの実績しかないそうです。市長提出の議案の検討だけでなく、ぜひ努力してよい条例の提案をしてほしい。

## 小川市政をこう評価する

司会 — それでは少し踏み込んで小川市政の評価をして下さい。立候補したのは市政をもっと良くしようと思ったからでしょう。100点満点で何点ですか。

東條 — 一点数じゃ付けられない。でも評価はしてません。バブル当時のものを引きずった政策を進めている。例えば、再開発の推進や新都市交通問題。また議会の答弁も自分の言葉でやってない。質問にきちっと市長の考えで答えていない。

岩本 — 私も数字では評価出来ない。議員になる前に仲間と一緒に毎年政策提案をしてきた。ダイオキシン削減の条例を提案した時にも、現行法で出来ているので何もする事はないの一点張りだった。市政の対応は不十分だった。

細谷 — 市議選の投票率は42%だった。市長のことはどうこう言えないね。自分の市民活動の経験からいえば、市長は前市長に比べ若いので精力的に動いてくれてると評価したい。こういう時代はなかなか判断出来ないけど。

司会 — それはこれから4年間で見極めて貰いたい。

細谷 — 僕の提案をやろうと言えばいい市長で、通してくれない市長は悪い市長という感覚ですね、今は。

小池 — 一応市民の声は聞こうとしてる。ただ市民アンケートを3千通出して1千2百の回答だったのを、市民の意見ですよと言うのはおかしいと思った。でも割合良くやっている。

中村 — 市長はたまたま地元の田名出身。私の回りの雰囲気は市長を応援している。内容は分からなくても、70点位かな。残り30点の改革は私がやって行きたい。

阿部 — 私は評価している。中核市としての方向も出し、合併についても明確に言えないことも分かる。十分回りの人や市民の意見を聞いていると感じる。年を召されているわりには、新しい方の話にも耳を傾けている。

岩上 — 勉強不足ですが、現段階ではあまり評価していない。それは昨年9月議会で、多くの署名や老人会の声を聞かず68-69歳の医療助成費の廃止案を出す一方、駅前大型開発を進めたことなどがあったからです。

# 市行政の問題点は

- 司会 — 例えば、公債費（借金返済）が10%を超え（13年度11.26%）赤信号、横山の総合水泳場が収入8千万円、維持費が3億2千万円など、財政難もその一つです。
- 東條 — 市民の声を聞かないことです。審議会なども単なるアリバイ作りで、実は行政主導型のシナリオに沿っている。
- 細谷 — 議員も市長もプロではないと思う。有権者も市民意識でなく住民意識でいる。行政に携わる者も市民ももっと市のことを分からなくてはならない。そのPRをどうしたらよいか、自分の今の能力ではわからないけど。
- 司会 — 政治に関心を持つ人が市民、そうじゃない人が住民だと私は思う。
- 細谷 — 同感。さっきの選挙の話に戻るけど何軒かお邪魔して、「よろしくお願ひします」と言うと、「俺は誰だっていんだよ」との返事。やっぱり辛いですよ、これは。
- 司会 — さっきプロという言葉が出たが、行政職員はある意味で全員プロです。しかし狭い範囲のプロだ。議員が市民の立場からそれを是正してほしい。阿部さんはITの専門家だから職員と協力してやって行くとよい。
- 中村 — 行政には年功序列が背景としてあるようだ。若手の課長がいてもよい。外には若手や女性の社長が一杯いる。適材適所は必要ではないか。
- 司会 — 2年前の調査では、女性課長が全課長の4%だけ。男女共同参画を宣言してもう3年になる。
- 岩上 — まだよく分からないけど、市民が市政をものすごく遠いと思っている。市民を責めるのではないが、そこには何か理由がありそう。近くなると本当の市民参加の市政はできない。
- 阿部 — 問題は行政と民間の意識の違いではないか。行政にも市民満足度といったものが出ているが言葉が先行してる。
- 小池 — 行政の意識と言う問題だけど、僕は現場主義だから職員と話したが、例えば管理職から一旦離れたらもう戻れないという。仕組みの問題から変えないとならないと思う。
- 阿部 — 僕は逆にハードを変えるのが先決だと思うけど、本人が変わることも必要だ。教育とかで、同じ枠組みの中でも意識改革の余地はあるはず。
- 小池 — 今の新しい公務員の大半は安定性を求めているため、公僕として働こうと言う人は一人もいない。
- 司会 — 議員はどうですか。
- 細谷 — それは答えられないよ。議員は4年で審判を受ける。学校の先生は審判されない。でも私立の先生は「代わりはいつでも居るよ」と言われるなど危機感はあるよね。
- 中村 — 付け足したいけど、商工会議所の立場で公務員とやり取りしたけど、彼らは前例の無いことをしたがる。自分の保身をものすごく感じた。前例がなく市民に評価されることをどれだけ部課長がやったかで評価してあげたらよい。
- 東條 — 反対のケースもある。止められない補助金。もらう側がもう要らないと言ってるのに、「俺が止めさせると、他から文句が出る」という。これも前例主義でしょう。
- 阿部 — 個人的に話すと公僕を自覚してるひともいる。
- 司会 — 議員と話ときは職員はいい事言うと思う。だから惑わされないようにしてください。
- 岩本 — 補助金なども含めて思うんですがいま市が抱えている課題は何で、市民との合意によるビジョンは何か等が不足しているのではないか。それがあれば市民の元気が出る市政になる。そして必要なもの、不必要なものが見えてくると思う。

# 市議会の問題点は

司会 — 本当は1~2年過ぎたところで聞きたいところですが、市議会の問題点はなんでしょう。

小池 — 司会者も気づいていると思うし、僕達も気づいても言えないことですよ。

司会 — 私たちにタブーはないです。思うことを言い尽くしています。皆さんは議員としての仲間意識もある。市民と喧嘩しても、与野党とか関係なく、議員の立場を守る意識が有るのでは。

東條 — 私は無所属で一人です。46分の1だと思っていたのにそうではない。これが最大の問題点です。

細谷 — いくつもある。さっき岩上さんが言った夜の議会。報酬はもらっているがある部分僕等はボランティアでなくてはいけない。他の国のように夜の議会があってもいい。こんなことを声高にいうと、「何馬鹿なこと言ってんだ」って言われちゃうかなー。

阿部 — フットワークが悪い。民間のようにはずっと行かないけど、例えば電子投票とか採決の電子化。効率からいえば問題なく採用できるものが一杯ある。そんな雰囲気をもっとあっていい。

中村 — 「市議会だより」を見ても、何々会派議員となっている。責任持って発言してるんでしょ。どなたの発言か当日傍聴に行かなければ市民には分からない。それと欠席議員が1人いても誰だか不明。キチンと氏名を出すべきだ。情報公開で分かりやすくしたい。

小池 — 傍聴して分かったことは、まず古いこと。例えば合併問題でも、先に色々考えねばならないのに、ある古い議員は「話が来てから考えればいいんだ」と言うんだ。そういう体質だ。また噂だけど、何か議員が行動しようとする、行政側から他の議員に通じて、潰される場合があるとされた。そういった仕組みがある。それを変えなくちゃ。(小池議員、この後急用で退席)

阿部 — 普通感覚でおかしいことは変わるよ。黙っていちゃ駄目だ。我々は正しいことはやる。(「市政クラブさん頑張ってる」の声)

細谷 — 多分、ここに居るそこそこ若手と70代の方の意見を戦わせたら、全然違った答えが出てくるんだろうな。

司会 — 年代別に会派は出来てませんか。

細谷 — 言いたいのは、長くやるからいいとか悪いとかでなく、そこそこで宜しいのではということ。議員はフットワークが良くなきゃ。行政の人と渡り合うにも足で稼がなくなきゃ。「やあやあ、これ頼むワ」じゃあネ。私もそうになったらごめんなさい。

岩本 — 最大の議決権を行使出来る場合は、やはり議会の中でという意識を議員一人一人が持つべき。議題の中身について意見をキチンと言える意識が大切。

岩上 — 今回驚いたのは、議案の賛成、反対を議会で記録していないこと。議員それぞれが議案に対してどういう態度を示したかが明白でない事にショックを受けた。これは問題です。

司会 — 実はキチンと記録してます。その件は本紙の第16号に報告しました。それを正式なものとして、「議会だより」にも載せません。これは重大な問題で、こんなまやかしが通用する議会は恥ずかしいと思いませんか。

夕	麦	議	赤	田	議
ハ	宅	員	国	眺	会
ン	地	ベ	も	望	俳
タ	並	チ	債	植	句
セ	死	ク	地	冥	・
イン	課	集	方	きて	緑
ロ	語	ッ	も	政	(下)
ソ	税	え	も		夢
ウ	に	ク	蟻		未
ク	て	り	地		沢
調		青	獄		来)
		嵐			



# 会派について思うこと

- 司会 — 東條さん以外は皆さん既に会派に所属しました。選挙では個人として選ばれたが、これから会派として行動する訳で、市民にどう説明しますか。
- 中村 — 会派のことは当選後出てきたので、理解が薄いです。前職の後継で相政会に入ったけど、合同で市政クラブに入った訳で、支援者には経緯を話すだけです。今後勉強します。答えにならずすみません。
- 阿部 — 議会の運営上、皆の意見を一番いい方法でまとめる経緯があったと思う。会派のメリット・デメリットのうち、デメリットは会派の中で揉んでいかななくてはならない。議運の構成のことも出てますが、会派がなければ回らない訳で、勉強中だが、おかしいと思うところまでは行ってません。しかし政策の実現というためには必要で、いまはメリットしか分からないですね。
- 岩上 — 必要だと思う。私は日本共産党の岩上容子として政策を訴え、議員になった。議運で発言したが、少数会派の方の声を生かすのが民主主義の大前提です。今度定数を10人以下にしたので

党はとんでもない話として、この案を否決させてもらったのです。

- 東條 — 会派に属さないので悲哀を被ります。代表者会議は議決の場で無いのに色々決められている。意見を述べる時もなかった。主義主張が違うから会派を組まないのに同室に入れられた。
- 岩本 — 私は2人会派です。会派は自分の政策実現に必要と思う。今回の議運で8人のうち4人が最大会派からという現状には疑問はあっても、異論を唱えても仕方ないので、言い訳のようだけど8人委員案に賛成してしまいました。長い目で見て、市民の共感を得る議員の顔ぶれを揃えるしかないと思っています。

細谷 — 岩本さんが言ったように自分の政策実現のためには必要。大前提です。22人の会派がいいか悪いかは別にしても、まず22人に分かってもらう。もし自分の意見が通らないなら、そこに席を置いてもしようがない。そうなれば考えなくちゃならない場面も出て来るかも、そう思います。

## 『議会だより』のあり方

- 司会 — さっき、中村さんも言ったように、「議会だより」に質問議員の名前がない。最近、全国の中核市35市の議会報を全部調査したところ、18都市で質問者名を記載してなかった。どこも共通して、大会派が反対して載せられないとのことで、相模原も同じです。神奈川県下の37市町村で載せてないのは、わずか13市町に過ぎません。皆さんはどう考えますか。
- 東條 — もちろん載せる。
- 中村 — さっき言った通り。載せないほうがおかしい。

岩本 — 載せれば身近に感じると思う。自分の選んだ人が何を話しているか、読むようになると思います。

阿部 — それだけじゃ。でも話では物凄い費用が掛かっている。市のHPでもと考えると、高齢者は見れないし、難しいですね。

司会 — それに氏名掲載の「会議録」もあるけど、全市で公民館等に配っている部数はわずか60部です。毎回22万部出してる市議会だよりに出せば済むのに実に無駄なことです。座間ではキッチンと出てます。

阿部 — 座間だと、どのくらい読まれてますか。

司会 — 調査したことがないそうです。

阿部 — 座間も昔は名前を出していなかったら、出してどう変わったか知りたかった。反響を知りたかった。

東條 — 名前を出すと事は市民が私の質問は何か知りたいというの無いとは言えないけど、私は自分が質問したことをきちんと知らせることだと思う。だから“無所属議員”では人で無くなっちゃう。「議会だより」が読まれる、読まれないは付随して出てくる問題だと思う。

阿部 — 名前だして読まれなくなったら大変なことになっちゃう。でもそれで数字に出てくるなら皆で読まれるようにしましょう。

司会 — 今まで無所属が二人で、どちらの無所属か分からなかった。西村さん、武原さん、よく我慢できますねと言ってきた。

東條 — 私は我慢できません。3人だから。

阿部 — 無所属で入れるのはおかしい。会派はある程度分かるけど。代表質問したのは私でも、それは市政クラブの考えだからね。

司会 — それは総括質疑。一般質問は議員個

人の権利の行使だから名前は載せなきゃおかしい。（「そうです」の声）

阿部 — 一概には..。考えさせて下さい。

細谷 — 本当は単純なこと。名前を載せたほうが絶対がいいと思ってる。まだ分らないが、毎回質問出来ないのかな。

司会 — 出来ますよ。地方自治法に制限は書かれてない。1週間通して一般質問やればいい。傍聴者は少し困るけど。

東條 — その質問も時間を短くしようとしているんですよ。議運のなりゆきにヒヤヒヤしている。議員一人一人を大事にしない形になりつつあります。

阿部 — 市政クラブを代表してきた訳ではないので、経緯が分からないで発言しても後で困るかも知れない。

司会 — 余り経緯を知らないほうがいい。知ると黙っちゃう。思った通りにやったほうがいい。

阿部 — いや、知らなきゃ駄目ですよ。知ったうえで変えなきゃ。

司会 — 市民にとっていいか悪いかの基準だけは守ってくださいよ。

阿部 — もちろん、そうですよ。

司会 — 名前を出さないことの市民のメリットってなにか、先輩に聞いてくださいよ。これは古くて新しい問題です。ぜひ挑戦して下さい。お願いします。

## どうする市民との対話

司会 — 最後です。今後市民の声をどう捉えまた報告していきますか。コミュニケーションの取り方を教えてください。

東條 — ニュースを出して、インターネットでHPを作る。あとは市民の要望、声に報告会を開き答えていく。多分、駅にも立ちます。

中村 — やはりHPを立ち上げる。市政報告会的なものも設けたい。

細谷 — 同じですね。HPと集会に出向いて話すとか後援会です。

岩上 — 毎週の朝の駅頭。ニュース発行と定例報告会。また青年層とのコミュニケ

ーションをどう図るか模索したい。

岩本 — ネットはミニフォーラムを問題解決の場にして。市内全域の議会報告会、党と後援会のニュース発行。それに街頭活動とサロンの集会の開催を。

阿部 — 紙のメディア、HPとEメール、集会報告、他市議員との連携、小池さんの現場主義、岩上さんの若い人の参加促進なども忘れずにやりたい。

司会 — 以上です。まずい司会で、気分の悪いところもあったと思うけど、お許しを。皆さん、率直なお話を有難う。感謝しています。【終わり】

# 相模原市議会 6 月定例会審議結果一覧表 2003(平成15)年

【審議結果】

(NO1)

議案番号	議案名	議決結果	会派別議決結果 ( )=会派構成人数									
			市 夕 (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 主 21 (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 福 (長)	無 福 (西)	無 福 (東)	
第48号	相模原市一般職の旅費に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第49号	相模原市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●
第50号	相模原市立けやき体育館条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
第51号	相模原市小規模特定給食施設等の栄養の改善に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第52号	相模原市立青少年センター条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第53号	工事請負契約について(公共下水道溝上大野台雨水幹線整備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
第54号	損害賠償の決定について(本市軽貨物者による人身、物損事故)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第55号	監査委員の選任について(栗原 勤氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第56号	公平委員会の委員の選任について(大塚 光子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第57号	人権擁護委員の候補者の推薦について(関口 正明氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
第58号	人権擁護委員の候補者の推薦について(山口 アサ子氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退
議提 議案第7号	税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
第8号	保育所運営費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号	教育予算の増額と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=可決、同意 ●=否決、異議 退=退席

【請願・陳情結果】

番号	請願・陳情名	結 果	会派別議決結果 ( )=会派構成人数									
			市 夕 (22)	公 明 (8)	共 産 (5)	民 主 21 (4)	社 民 (2)	神 奈 (2)	無 福 (長)	無 福 (西)	無 福 (東)	
請願第2号	ゆとりある教育を実現するための教育予算増額と義務教育費国庫負担制度堅持について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第13号	パート・臨時労働者の労働条件改善について	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○
第14号	最低賃金の引き上げ、全国一律最低賃金の確立について	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×
第15号	清潔で公正・公平な国民奉仕を貫く公務員制度の確立について	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
第16号	公契約における公正な賃金確保等について	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○
第17号	有事関連法案反対について	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
第18号	義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度からの適用除外及び必置規制廃止反対について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第19号	有事関連3法案反対について	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
第20号	さがみはら市議会だよりに一般質問者の氏名を掲載することについて	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○
第21号	さがみはら市議会議だよりの議案審議結果に全会派の賛否を掲載することについて	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	さがみはら市議会だよりに議会内会派の考え方を掲載することについて	×	×	×	退	×	×	×	×	○	○	○
第23号	教育基本法改正の見送りについて	△										
第24号	保育所運営費国庫負担制度の堅持について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第25号	ICカード発行のための予算執行凍結について	×	×	×	○	×	×	○	×	○	○	○
第26号	有事関連3法反対について	×	×	×	○	×	○	○	×	○	○	○
第27号	産業廃棄物中間処理施設グリーンアサヒの焼却再開について	△										

○=採択 ×=不採択 △=継続審議 退=退席

# 相模原市議会 6 月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO1)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
<p>山岸 一雄 (市政クラブ)</p> 	<p>①中核市にふさわしい市政を ・権限移譲と税源移譲等財源の確保 ・自立都市と分権拡大への取組み</p> <p>②業務核都市について ・位置付けと取組み、今後の課題</p> <p>③新都市農業創出特区について ・特区計画と農業公園構想 ・農業と商工業等関係団体の連携</p> <p>④保健福祉施策について ・PFI導入による北地区保健福祉センターの整備促進</p>	<p>川上 一行 (市政クラブ)</p> 	<p>①さがみはら都市みらい研究所について ・市民研究員の選定方法と基準</p> <p>②高度情報化へのGIS情報システムについて ・考え方、取組み、効果</p> <p>③地域経済の活性化について ・同業種業界の協同組合の規模</p> <p>④市制50周年記念事業について ・事業の推進体制</p> <p>⑤教育問題について ・教職員の新人事評価システム</p>
<p>金子 豊貴男 (社会民主党)</p> 	<p>①行政の情報化、電子自治体をどう進めるか</p> <p>②公共施設の市民開放、施設利用の促進を、現状と課題 ・生涯学習、生涯スポーツの振興のため、民間を含め積極的活用</p> <p>③基地問題-1 相模総合補給廠にあらたな訓練施設建設、訓練基地化に反対を</p> <p>④基地問題-2 相模総合補給廠のPCB搬出</p> <p>⑤基地問題-3 この夏、長期化する厚木基地の爆音被害対策</p>	<p>武原 祐子 (神奈川ネットワーク運動)</p> 	<p>①上矢部公園移設問題について ・公園移設の経過と進め方 ・住宅と上矢部保育園の環境悪化 ・課題と今後のまちづくり</p> <p>②中学校における弁当販売について ・状況とアンケート結果 ・今後の取組み、課題と対策</p>
<p>久保田 隼夫 (市政クラブ)</p> 	<p>①麻溝公園陸上競技場整備事業について ・整備年次とスケジュール ・維持管理、活用方策</p> <p>②バス路線網の再編について ・基本計画との整合性、今後の対策</p> <p>③農政について ・今後の是正指導 ・農業委員の役割</p> <p>④相武台下駅周辺整備について ・駅舎内自由通路とバリアフリー ・公衆トイレの設置</p>	<p>西村 綾子 (無所属)</p> 	<p>①有事法制下での基地問題について ・市内基地強化の動きと全面返還要求との関係</p> <p>②グリーンアサヒ工場再開問題について ・現状認識と解体工事の問題点 ・説明会開催と市の対応</p> <p>③教育基本法改悪について ・中央教育審議会答申についての見解は</p>
<p>菅原 康行 (公明党)</p> 	<p>①環境対策 ・市公共施設の省エネ対策 ・資源リサイクルの推進</p> <p>②行政改革 ・土日の業務、相談窓口の開設 ・フレックスタイム制導入 ・ネームプレート着用(市職員)</p> <p>③上溝駅周辺の交通問題 ・上溝駅周辺の交通安全対策</p>	<p>岩本 香苗 (神奈川ネットワーク運動)</p> 	<p>①地域福祉の考え方と計画策定への市民参加について ・地域福祉におけるNPOの役割 ・地域福祉計画策定の課題</p> <p>②グリーンアサヒ操業再開について ・施設管理について市の指導状況 ・資金計画について</p>
		<p>藤井 克彦 (日本共産党)</p> 	<p>①南地区保健福祉センター建設計画の見直しについて</p> <p>②相模大野駅西側地区再開発の見直しについて ・まちづくり計画、商店街振興策等の新たな検討は</p> <p>③学校のバリアフリー化について</p> <p>④米軍ジェット機の爆音解消について ・根絶にむけた市長の方針は</p>

## 相模原市議会 6 月定例会での議員活動（一般質問）状況

(NO2)

議員名(会派)	一般質問の主題	議員名(会派)	一般質問の主題
東條 恵美子 (無所属) 	①産業廃棄物処理業者グリーンアサヒの営業再開について ・3年間営業をストップしていたグリーンアサヒの営業再開についての市としての考え方 ②高齢者地域ケア体制の推進について ・地域ケア体制を推進するための具体的な整備	田中 武夫 (日本共産党) 	①平和と有事法制、米軍基地問題について ・武力攻撃事態法の「対処処置」に係わる市としての立場は ・基地早期返還運動の強化は急務 ②医療改悪による市内高齢者の実態と対応について ・払い戻しを受ける方への周知 ③JR 淵野辺駅と北口整備、駅周辺環境について ・登校時、下校時の道路混雑が地元で問題に、対策は
岩上 容子 (日本共産党) 	①産業廃棄物処理施設グリーンアサヒの焼却再開について ・業者からの申請内容は ②市内にストリートバスケット及びスケートボードパーク設置を ・市内で、ストリートバスケットやスケボーの出来る場所は ・今後作る考えは	長友 克洋 (民主・自由 21クラブ) 	①市民と政治との距離について ・地方選の投票率から見る認識と対策は ②市民の利便性向上を目指して ・コンビニエンスストアとの様々な協力を目指しては ③不測の事態に備えて ・電力供給不足による大規模停電への対策は
関山 由紀江 (公明党) 	①都市農業について ・農業公園の進捗状況 ②バス交通について ・乗り合いタクシーの導入 ③高齢者対策について ・高齢者の虐待防止 ・高齢者、障害者世帯の一般ごみ個別収集 ④教育について ・安全な通学路対策 ・学校喫煙対策	菅野 通子 (日本共産党) 	①津久井4町との合併問題について ・市長の見解と対応 ・どのような相模原をめざすのか ②バス交通の改善、充実について ・コミュニティバスなどの計画は ③ごみ問題について ・一般ごみ集積場所に関わる問題 ・ごみ収集有料化は、減量化の決め手か
松永 千賀子 (日本共産党) 	①介護保険制度について ・利用料軽減 ②高齢者福祉の充実について ・身近な地域で交流できる場所の確保を ③中学校完全給食について ・行政の標準的サービスであり実施の努力義務を果たすべきでは ・学校給食の早期実施のための検討をはじめるときでは	小林 一郎 (公明党) 	①地方分権について ・税財源移譲、広域行政 ②電子市役所について ・電子化と市民サービス向上成果 ・住基ネットカードの付加サービスについて ③環境保全について ・A & A地区について
長友 義樹 (無所属) 	①特別職退職金制度について ・見直しの考え方は ②市民サービスの向上について ・土日開庁の考え方は	※詳しい内容は『市議会だより』や『議事録』を参照して下さい。	

# 市議会があぶない！

—— 22名の超大会派が誕生 ——

4月27日の統一地方選挙での市議会議員選挙の結果、本市の新しい46市議の顔ぶれが揃って、早速6月定例会が開かれ、終わった。新議会での関心事は、新しい会派構成、正副議長選出、議会運営委員会の構成などであった。

会派構成の決定には思いがけない動きがあった。まず、前期の保守系第1会派「市民クラブ」(14人)と第2会派の「相政会」(9人)が保守合同と称して「市政クラブ」を結成し、22人という議員数の半数近くを占める会派を誕生させたこと。そして、民主党の2人と自由党1人と前期「リベラル相模原21」1人の4人が「民主・自由・21クラブ」の4人会派を作ったことである。この離合集散の後、市議会における「小川市政を支える立場」(由比昭男新議長の言葉)の勢力図は次のようになった。(敬称略、議員番号順)

——— <小川市政を支える立場> ———

■市政クラブ (22)

阿部善博	中村昌治	細谷政幸	須田 毅
沼倉孝太	久保田隼夫	岸浪孝志	川上一行
稲垣 稔	川田基晶	小俣 旭	佐藤賢司
折笠峰夫	久保田義則	山下昌志	石井千太郎
山岸一雄	細谷達司	由比昭男	今井 満
溝渕誠之	河本文吉		

■公明党 (8)

加藤明德	米山定克	関山由紀江	菅原康行
大上和夫	山崎順二	山田 弘	小林一郎

(前期で市長議案に100%賛成の実績から判定)

——— <その他> ———

■日本共産党 (5)

田中武夫	岩上容子	松永千賀子
藤井克彦	菅野通子	

■民主・自由・21クラブ (4)

小池義和	大沢洋子	寺山 猛
長友克洋		

■社会民主党 (2)

友成洋一	金子豊貴男
------	-------

■神奈川ネットワーク運動 (2)

岩本香苗	武原祐子
------	------

■無所属 (3)

東條恵美子	西村綾子	長友義樹
-------	------	------

合計30名

合計16名

## 少数会派を排除する

議会運営委員会、機能せず  
——— 8会派13人 → 4会派8人 ———

今議会から議会運営委員会の定数が10人以内、委員を出せる会派の人数を3人以上と改めたため、社会民主党と神奈川ネットワーク運動は委員をだせず、無所属議員とともに「オブザーバー」出席を余儀なくされ、発言は許されるものの議案の採決には加われないことで、市民が選んだ7人もの議員が、議員としての権利を奪われる事態に陥った。

市民の声がどれだけ議会に反映されるかという観点から考えると、委員会における会派の数が多いほど良いのは自明の理である。前期までは少なくとも8つの意見・考えが出たものが、今期は4つに激減する事で、言論の府である市議会自身の質の低下と議論の減少が危惧される。“小川市政を支える”市政クラブと全て「市政クラブさんと同じ」を繰り返す公明党が支配する市議会に、果して市政をチェックする機能を期待できるのか。 ■

〔議会川柳〕

市議会の常識

市民の非常識

議員にも血税流れてる

(中核市・市民)

〔議会川柳〕

民主主義

多数派横暴の

恐ろしさ

# 由比議長が対話を開始！

——歴代議長で初の懇談は実現したが——



由比昭男議長

「今度こそ」の期待に応えてくれた。これまで本会では、山岸・石井両議長に対し4年間にわたり懇談を申し込んだが、直接対話の機会は全く実現しなかった。ところが、5月臨時会で新議長に選ばれた由比昭男氏にさっそく懇談を申し込んだところ、7月4日、ついに懇談が実現した。

本会では、由比議長が就任後にマスコミ等で発言した内容をはじめ市議会だより、会派問題、傍聴環境改善、議会運営委員会などについての質問を用意して臨んだが、30分の時間制限のもと、議長の個人的な発言内容についてだけ説明され、第2回目の懇談の約束を得た。

- 『議会の公正、円滑な運営に努力する』（議会だより 臨時号の挨拶から）
  - 民主主義の原則である多数決で決めていくことこそ公平で円滑な運営だ、との説明。【市民に選ばれた議員全ての言論の場をどう保証していく議会になるのだろうか】
- 『市政クラブは小川市政を支える立場の議員』（相模経済新聞6月1日号）
  - 基本的に小川市長の考え方に賛同しているが、鶴呑みにはしない。事前に市側の説明を聞いている（全員協議会や部会のこと？）ので、変えてほしい時はキチンと言う。【議員が支えるべきは市民の生活と安全ではないのか。議会での論争こそ大事では？】
- 『従来に増して市民の声に耳傾ける』（同上）
  - 市民の声は議員各々が聞いている。自分は後援会の声を聞き、また報告もしている。【市民は多くの議員の情報を望んでいる。後援会が市民の声との説明には納得しない】
- 『市民の要望にすばやく対応したい』（夕ニュース）

【陳情の継続審査や遅々とした議会運営委員会の検討等が本当に改善されるのか疑問が残る。】

★「議会だより」の氏名掲載、会派の賛否一覧や請願・陳情問題、議会の休日開催などは新設の議会制度検討協議会で検討するので、議長としての発言は避けたいとのことだったが、気になる次のような発言もあった。

- ① 傍聴席内外の監視や事務局員の監視がなぜ悪い？
- ② 「議会だより」での自己宣伝は良くない。他市のことはどうでもよい。
- ③ 議会運営委員会の審議資料が配られていないのは知らなかった。
- ④ 議会運営委員会の定数減・会派減は改善だ。 ■

## 報道転載

今年四月の統一地方選で初当選した相模原市議会の新人議員による座談会「新人議員さっそく登壇！ 私はいこう考え、行動する」が二日、相模原市富士見のさがみはら市民活動サポートセンターで開かれた。市議会の傍聴活動を通じて市民グループ「相模原市議会をよくする会」（赤倉昭男代表）と、地域の総合雑誌「アゴラ」（西尾順爾発行責任者）の共催。新人議員九人のうち、地域の行

## 熱い意気込み語る

### 新人市議7人が座談会

相模原

健全育成など身近なところからやりたい、「夜間や土日に議を開くべき」「市民に分かりやすい言葉で伝えたい」「高齢者も障害者

もすべての人が使える行政のIT（情報技術）化に取組みたい」といった抱負が出された。選挙活動で感じたことや、行政の課題など活発に意見を交わした。座談会の詳細は、相模原市内の主要書店で七月一日に発売されるアゴラ二十六号に掲載される。（吉田 勝行）



相模原市議の新人7人が参加した座談会  
＝さがみはら市民活動サポートセンター

神奈川新聞  
五月二十一日

議会だより 3 陳情

# またも不採択

本会は6月定例会で議会に対し3つの陳情書を提出したが、全て不採択となった。

- ①「議会だより」に質問議員名を掲載
- ②議案の審議結果の会派別賛否一覧掲載
- ③全会派の政策・考え方の公表

## 市政ク・公明が 反対

陳情を審査した議会運営委員会では、共産党（松永委員）と民主・自由・21ク（長友克委員）が賛成。最大会派の市政クラブ（稲垣・川田・佐藤委員）が反対すると公明党（大上・菅原委員）が追随した。

質問者名の掲載は情報公開の意味からも当然なことだが、反対派委員の理由は、単に過去に検討し決定済と言うことだけが挙げられた。

今回この議運委では「議会制度検討協議会」なるプロジェクトチームが設置され、議会だよりの件もこの協議会の課題とされた。あくまでも陳情に屈して氏名掲載をするのは避ける先送り策に過ぎない。これでは「百年河清」の譬えの典型だ。

## 本会の総会から

2003年度の相模原市議会をよくする会の総会が5月25日（日）に大野北公民館で開催され、02年度の活動・会計・監査報告と03年度の活動案と予算案、人事が承認された。

主な活動報告では、会報The Galleryの臨時号（議員通信簿）の発行、全46議員のアンケート実施、「純粋市民クラブ」の月例会への参加・交流、市総務部との懇談、議会運営改善に関する陳情提出などが報告された。

——<新役員は下記の通り>——

代表（赤倉昭男）副代表（大野千恵子、北代照明）書記（中山貞望、西村真）会計（篠田房枝）運営委員（浅賀きみ江、大林トヨ子、小野三四郎、中澤興平）会計監査（石川紀子）

### 編集後記

新議員7人の座談会での発言は、議会改革への希望を抱かせた。所属会派が決まった後でも、意見には会派の違いを感じさせない市民感覚が満ち満ちていた。いつまでも、と祈る思いだった。この新議員達の一般質問時の氏名が「議会だより」に載るのはいつだろう。（赤）

## 9月定例会日程（会議の開会は毎日朝9時半から）

8月19日・火	議運委	9月8日・月	総務委	9月16日・火	文教委
8月25日・月	本会議	9月9日・火	民生委	9月26日・金	本会議
9月3日・水	本会議	9月10日・水	環境経済委	9月29日・月	本会議
9月4日・木	本会議	9月11日・木	建設委	9月30日・火	本会議

### □入会申込書□

<入会金・不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。（A、Bどちらか ○をつけてください。）

氏名 \_\_\_\_\_

A. 会員（傍聴など活動する）として

住所 \_\_\_\_\_

B. 賛助会員（講読し、支援する）として

☎・FAX \_\_\_\_\_

●年会費（会員2000円、賛助会員1口1000円から）

★郵便振込口座番号：00280-6-48430 相模原市議会をよくする会

★申込先= 相模原市議会をよくする会・事務局（代表/ 赤倉昭男）

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140